

小学校の社会科見学(市原乳牛研究所)

- 市原乳牛研究所(千葉県乳牛育成牧場)では、毎年、市原市内の小学校3年生の社会科見学を受け入れている
- 令和3年度の見学者数は782名(14校)であった
- 見学時間は1時間30分程度で、各小学校と事前に日程調整を行った上で実施した

牧場の仕事(受託業務と試験研究)や牛に関する説明を行いました。また、牧場の一番高い所にある展望台まで歩いて上り、牧場の全景と房総の山並みを眺めながら、草地(採草地・放牧地)や放牧牛の様子を観察してもらいました。



千葉県鶏卵品質改善共進会

- 開催日: 令和3年10月13日
- 主催: 千葉県農業協会養鶏部会
- 出品点数: 122点

毎年、当センターを会場として開催され、審査委員長はセンター長が努めています。

審査員による外観審査と機械測定値の合計点で総合順位を決めました。外観審査は、10個の卵を用いて、形状や色、大きさの揃いや清潔度について審査しました。また機械測定では、卵の鮮度を示すハウユニット値、卵黄の色、卵殻の厚さや強度等について測定しました。

今年度も県内各地の養鶏農家から優れた鶏卵が多数出品されました。受賞された皆様、おめでとうございます。



当センターの牛が 25 年ぶりの 6 頭目のエクセレント獲得

令和 3 年 6 月 14 日に実施された一般社団法人日本ホルスタイン登録協会による体格審査で
嶺岡乳牛研究所の乳牛が 90 点のエクセレントを獲得しました。

当該牛の名号は「ミネオカ カブレット スーパー ダージリン」で県内酪農家からの導入牛スター
ーナ カブレット ペギーに由来する系統で一昨年 89 点を獲得したことから久しぶりのエクセ
レントが期待されていたところです。

県有としては 6 頭目になりますが、これまでの 5 頭は全て導入または導入牛産仔でしたが、今
回は自家造成牛として初のエクセレント獲得となります。嶺岡のドナー牛群の血統だけでなく飼
養管理の確かさを証明した形となりました。現在、同牛は供卵牛として活躍しております。ご希
望の方は嶺岡乳牛研究所までお問い合わせください。



サマーサイエンススクール「生まれたてのひよこに会いに行こう！」

- 開催日:令和3年7月30日
- 主催:千葉県夢チャレンジ体験スクール実行委員会(教育庁教育振興部生涯学習課)
- 参加者:小学校4~6年生の親子8組

参加者は、2班に分かれて鶏舎や牛舎等に移動し、「ヒナの発生」、「卵の話」、「子牛の観察」をそれぞれ順番に受講しました。

ヒナの発生では、ヒナ(ひよこ)が生まれる卵の見分け方、卵からヒナをふ化させる方法を学んだほか、生まれたてのヒナを手にとって観察を行いました。

卵の話では、食塩水に卵が浮くか沈むか実験したほか、黄身の色を観察するなど、古い卵と新しい卵を比較する実験を行いました。

子牛の観察では、牛の胸に聴診器を当てて心音を聞いたほか、哺乳体験や搾乳施設の見学を行いました。

ヒナの観察



卵の観察



子牛の観察

